



発行所 秋田魁新報社
秋田市山王臨海町1番1号
〒010-8601
©秋田魁新報社 2017年

号外

購読申し込み
0120-13-1231
ホームページ
www.sakigake.jp
携帯サイト
m.sakigake.jp



詳しくは「秋田魁新報」朝刊、当社ホームページをご覧ください。

賞ナーガードに藤遠

由利本荘市 出 身 スタチンを発見

【ワシントン共同】医学の分野で重要な発見をした科学者をたたえる力ナダ・ガードナー賞の今年の受賞者に由利本荘市出身の遠藤章・東京農

工大特別栄誉教授(83)が選ばれた。ガードナー財団が28日に発表した。遠藤氏は製薬会社三共(現・第一三共)の研究員時代に青カビの培養

液中から、体内でのコレステロール合成に関係する酵素を阻害する物質「スタチン」を発見。血中のコレステロールを劇的に低下させる効果がある高脂血症薬の開発につながった。財団は「心臓病の予防や治療に革命をもたらした」と評価した。

コレステロール合成阻害剤で、脳梗塞や心疾患を引き起こす動脈硬化の予防などに役立てられている高脂血症治療薬の総称。いくつかの同族体があり、遠藤氏はコンパクチンという物質をスタチンの第1号として発見した。医薬品市場調査会社セジ

ガードナー賞は、iPS細胞を開発した山中伸弥京都大教授(54)や、微生物から熱帯感染症の特効薬を開発した北里大の大村智特別栄誉教授(81)ら、過去のノーベル医学生理学賞の受賞者も数多く受賞している。

1年から11年連続で1位だった。特別栄誉教授。東北大特任教授。2006年に日本国際賞、米マズリー賞、08年に米ラスカー賞。11年に米国科学アカデミー外国人会員選出、文化功労者表彰。12年に秋の叙勲(瑞宝重光章)受章。全米脂質協会が今年「遠藤章賞」を創設し、5月に第1回授賞式を開催。06年に秋田県名誉県民、07年由利本荘市名誉市民。09年に秋田魁新報創刊135年「創刊記念章」受章。



ガードナー賞受賞が決まった遠藤章氏(2011年10月25日、文化功労者選出を受けた東京農工大(東京都府中市)での記者会見で)

遠藤 章氏(えんどう・あきら) 1933年11月14日、由利本荘市東由利生まれ。本荘高下郷分校から秋田市立高(現・秋田中央高)に編入。東北大農学部卒業後、製薬会社「三共」(現・第一三共)に入社、研究員時代に青カビから「スタチン」を発見。発酵研究所室長を最後に退社し東京農工大農学部助教授。同大教授を経て97年退官、バイオファーマ研究所(東京)所長に就任。同大

特別栄誉教授。東北大特任教授。2006年に日本国際賞、米マズリー賞、08年に米ラスカー賞。11年に米国科学アカデミー外国人会員選出、文化功労者表彰。12年に秋の叙勲(瑞宝重光章)受章。全米脂質協会が今年「遠藤章賞」を創設し、5月に第1回授賞式を開催。06年に秋田県名誉県民、07年由利本荘市名誉市民。09年に秋田魁新報創刊135年「創刊記念章」受章。